

あ・そうかい通信

新年会 大盛況に

さらなる

発展の予感！

毎年恒例の新年会が1月18日、おなじみの麻生市民交流館やまゆりで開かれ、多くの会員が集まって新たな年の新たな活動へとスタートを切



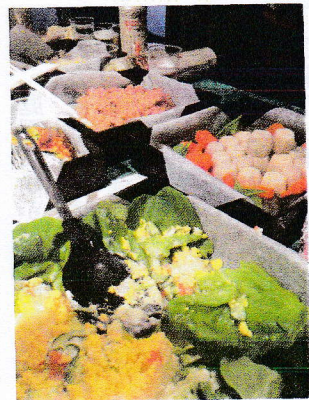
った。
日の暮れかかる夕刻、やまゆりに集まったのは38人。今回は仕出し料理を取り寄せるといふ新機軸で、テーブルには多彩な味が詰められた重

箱がずらりと並んだ。差し入れの美酒も飲み切れないほど集まり、会場はいかにも新年らしい華やかさに包まれた。和やかな歓談の後はカラオケ。大盛り上がりの2時間があつという間に過ぎたのは、会員お互いの息がますます合ってきたからに違いない。

新たな分科会が次々と誕生していることからわかるように、会の活動はますます幅を広げ、厚みを増している。やまゆりを拠点とするシニアグループの中でも、その活発さは際立っているとの評もあるようだ。新年会の盛況は、いつその発展を予感させるシーンといえるだろう。

この勢いで、毎月恒例の「@さろん」の参加者も増やしていきたい。そして来年の新年会は「全員参加！」といきたいところだ。

文：佐藤次郎 写真：佐々木直子



豪華絢爛！？ 美味、美酒のかずかず

魚眼・複眼

今年は何年に比べて寒さが厳しく、雪も多く、インフルエンザが大流行と、我々の年代にはかなり辛い年明けとなりましたね。

病気になるかと老化現象と考えがちで、気弱になりがちですが、年齢とともに加わる変化は、喪失ではなく、ある意味では、成熟であると受け止めた方がいいです。

人生80年という正解のない時代に挑戦している我々にとつて、正解が自分の中に出るまで動かないのではなく、多少無謀でも第一歩を踏み出してしまおう。「そうですか、ちよつとやってみますか」という軽いノリこそが大切な気がします。新年度の運営スタッフを各班で選ぶ季節となりましたが、全員が必ず担当することですし、担当することによつてこそ「あ・そうかい」の良さが実感できると思います。そのうちと答えている方へ「そのうちと幽霊は出たためしがない」とありますよ！